

## 「重篤な疾患を持つ新生児の家族と医療スタッフの話し合いのガイドライン」(以下 GL) をもっと活用しやすくなるように多職種で話し合おう (案内版)

第59回日本未熟児新生児学会・学術集会において、全国のアンケート調査より、GL そのものの見直しは不要だが、GL における抽象的な部分の理解を深めることや教育の必要性、事例検討や研修会の開催の必要性、話し合いの実施手順や指針があると活用しやすいなどの課題が挙げられたことを発表しました。

周産期に関わる現場の多職種で GL における課題について意見を交わすことによって、課題解決への道を具体化し、GL のより良い活用を目指したいと思えます。

そこで、その第一歩として、第60回同学術集会において、倫理問題検討委員会主催による多職種によるグループワークとその成果発表を行うことを企画いたしました。

### 日程)

2015年10月23日金曜日の午後：3時間程度：グループワーク

10月25日日曜日？(未定)に発表(新生児看護学会2日目)

各グループ代表者による1グループ5分以内の発表と質疑応答

全体討論

### テーマ)

- 1) 事例検討や研修会はどうやって行くと良いのか？
- 2) 父母と医療スタッフが対等の立場で話し合うにはどうしたらよいか？

### 参加者)

定員40名(1グループ約10名)定員に達したら募集終了。ただし、職種ごとに応募人数によって調整は行う。

医師・看護師・臨床心理士・その他周産期に関わる職種なら誰でも良い

テーマ2)は、ご家族にも入っていただく予定

### 参加費用)

無料(日本未熟児新生児学会・学術集会または日本新生児看護学会・学術集会への参加が必須)

具体的な募集方法は各学会のHPなどでアナウンスを予定しております。できるだけふるってご参加くださいませ。

主催) 日本未熟児新生児学会 倫理問題検討委員会

問い合わせ先) 同委員会委員長 福原里恵

r-fukuhara@hph.pref.hiroshima.jp